

ボランティア活動報告書

グループ（ ナチュラル ）

活 動 日 時	2024年7月9日
活 動 場 所	武庫川右岸「伊子志(いそし)の渡し」周辺
参 加 人 数	6 名
活 動 内 容	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・7月2日に最初の活動、武庫川右岸河川敷の清掃を予定していたが、雨のため1週間延期した。8日は熱中症アラートが発令されていたが、9日は暑さが和らぎ実施できた。・かつての武庫川の渡船場、「伊子志の渡し」記念碑では、生い茂る草を刈って銘板を見やすくした。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・拾ったゴミ、刈った草の総量は、スーパーの大き目の袋1袋分。ビニール包装紙が多かった。・清々しい達成感を得られたうえ、阪神シニアカレッジから往復約50分間、約3,200歩を歩き適度な運動になった。・「伊子志の渡し」の歴史的意義を学んだ。 <p>【次回予定】</p> <p>武庫川左岸</p> <p>【詳細】</p> <p>別紙にて、活動エリア・活動内容を図表・写真で示す。</p>
感 想	<ul style="list-style-type: none">・野外活動は、雨や高温に左右される。決して無理しないことが重要。・本活動後の7月9日授業は、ちょうど各ボランティアグループごとのミーティングだった。現地活動には参加できなかったメンバーを含め、活動内容を共有、理解を深めた。 <p>【SDGsとの関連】</p> <ul style="list-style-type: none">・新しい視点として、国連が定める持続可能な開発目標「SDGs」との関連という気づきがあった。・河川敷の清掃は、最終的に「海の豊かさを守る」。特にビニールが生態系を脅かすことを防ぐ。・「安全な水とトイレを世界中に」、「住み続けられるまちづくりを」とも合致し、活動メンバーにとっては「すべての人に健康と福祉を」というメリットもある。

【 詳細別紙 】
(1)7月9日活動参加者 6名



(2)活動内容:河川敷、「伊子志の渡し」碑周辺の清掃、収集物



(3)「伊子志の渡し」の碑文を学習



(碑文の要約)

江戸時代、武庫川など大きな河川は橋がなかった。渡し船が一般的。「伊子志の渡し」では、小さな伝馬船による渡しが行われていた。この渡し船は大正初期頃まで続いていた。明治後期にかけての渡し船料金は一銭(約250円)だった。「伊子志の渡し」の上流で「生瀬の渡し」が、下流の西国街道付近には「髭の渡し」と呼ばれる渡し船がそれぞれ運航されていた。

(4)活動予定エリア ①7月9日、②9月3日



(5)清掃活動の意義をSDGs視点でレビュー

